

麦



埼玉親の会「麦」発行

2023年6月25日 157号

E-mail: mugi.saitama89@gmail.com

ホームページ: <http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



2023 度を迎えて ～代表よりメッセージ～



＜＜ 代表挨拶 ＞＞

4年ぶりに代表が交代となり、今年度は私が代表を務めさせていただくことになりました。私は21年前に代表を4年間務め、その後は後進に道を譲り、代表達をサポートしてまいりましたが、近年の役員減少に伴い、再度代表職に就任する運びとなりました。皆様、1年間よろしくお願ひいたします。

さて、新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、少しずつコロナ前の生活が戻ってまいりました。コロナ禍においては行えなかったいくつかの活動を、再開できたらと思っています。またオンラインを含め、今の社会状況に合った活動内容、連絡手段等のアイデアを募り、積極的に導入する方向で役員達と協議を重ねています。今までのやり方を否定廃止するのではなく、今までのやり方を認め継続しながら、新しいやり方も導入できるように、会員皆様から広くお知恵を拝借できたら幸いです。ある人にとっては便利で使いやすく参加できる方策が、別の人にとっては不便で使い難く参加できない方策になる場合もあり、配慮が必要です。

「麦」は、発達障害の子を持つ親達と当会に賛同いただける方々で構成されています。「麦」の役職や在籍年数に関わらず、会員は対等な関係です。役員だけで運営するのではなく、会員お一人お一人の力に支えられています。「麦」の活動が、会員の誰かに多大な負担を与えないように、みんなで分担相互協力していきましょう。

(H・Y)

★2022 年度第 34 回埼玉親の会「麦」総会

3月13日(月) 10:30～

浦和コミュニティセンターIT 研修室にて

正会員 46 名中、出席 5 名、委任状 36 名、連絡なし 5 名

司会、議長を選出し式次第に従って進められました。2022 年度活動報告と決算案、2023 年度予算案が資料のとおり承認されました(一部誤字修正)。

次に提案事項 2 件が可決され、最後に新年度役員を選出を行い閉会しました。

会員の皆さん、2022 年度の活動へご協力いただきありがとうございました。2023 年度もよろしくお願ひいたします。

(M・K)

★ 3月交流会

「新年度の活動について」

3/13(月)に総会に引き続き午後交流会を行いました。参加者は5名でした。

新年度はどのような活動が良いか話し合いをしました。会員の減少が心配なので、少なかった週末の活動を増やす、コロナで見合わせていた地域おしゃべり会を開催する、Zoom を活用するなどの意見がありました。役員不足も課題ですが、多くの会員の皆様にお手伝いをお願いしながら、活動をしていきたいと思います。話し合いました。(A・Y)

発送活動

2月発送 2/22(水) 浦和コミュニティセンター第13集会室 13:00～印刷製本封入

午前の全体交流会の後、役員4名とお手伝いの会員4名の計8名で発送物を印刷製本し、会員と関係先に郵送いたしました。機関紙はWEB掲載するので、会員や関係先にはWEB機関紙を紹介するのみ、郵送先はほんの一部です。しかし2月は、総会資料と出欠確認用紙の印刷郵送が会員人数分あり、役員だけでは手が足りません。今回はお手伝いくださった会員達のお陰で、時間内に作業を終えることができ、本当に助かりました。快くお手伝いくださった皆様、ありがとうございました。

(H・Y)

発送活動

4月臨時号発送 4/24(月) 浦和コミュニティセンター第8+9集会室 13:00~印刷製本封入

全体交流会終了後、役員4名とお手伝いの会員1名の計5名で機関紙臨時号の発送作業を行いました。臨時号は、役員氏名並びに連絡先・麦の口座番号など大切な情報が掲載されている事務連絡版です。情報流出防止の為、WEB掲載やメール添付送信は行わず、会員宅へ郵送しています。今回は、会員構成調査と進路アンケート(返信用封筒)も同封いたしました。2月に引き続き、4月もお手伝いが数名必要だったのですが、協力いただける方が1名だった為、前日の23日に発送役員がひとりで事前印刷できるものを印刷しました。コロナによる対面活動制限は緩和されています。無理なお願いをするつもりはございませんが、役員の負担が過多にならないように、ご都合のつく会員は、発送に関わらず活動へのお手伝いをよろしくお願いいたします。(H・Y)

全体活動



2月全体おしゃべり会

2/22日(水) 10:30~12:00 浦和コミュニティセンター 第13集会室
出席 教育G 2名、就労G7名、見学5名 合計14名

2月のおしゃべり会に参加しました。3グループにわかれて、私は主に小中学生の保護者のグループでお話をしました。

支援級と普通級どちらで学んだらよいのか、子供の特性について学校の理解や配慮が得にくい、子供に合った進学先をどう選ぶか等、皆さんが抱える悩みを聞き、意見交換を行いました。また先輩方からは「その子にできることで勝負する」「価値観を押しつけない」といったアドバイスをいただくこともできました。普段は相談先もあまりなく、家庭内で悶々としがちでしたが、このような共感やアドバイスをもらえる場所があると気持ちが楽になります。ありがとうございました。(M・N)

4月全体おしゃべり会

4/24(月) 浦和コミュニティセンター第8+9集会室

教育グループ2名、就労グループ4名、見学5名、合計11名の参加でした。

3つのグループにわかれておしゃべりしました。私は子どもの年齢が比較的高いグループに入りました。いつも思う事ですが、同じ発達障害と言っても、抱かえている問題は人それぞれです。それでもお母さんが上手に対処されている話を聞くとホッとします。自分のまずかった対応を反省したりします。年齢が高い子たちなので、障害年金や仕事の事で話が盛り上がりました。こういう話ができる場があってよかったと、見学の方からうれしい言葉もいただきました。1名の入会があったのもうれしいことです。

会員の開催希望が多かったおしゃべり会です。平日では参加しにくいという方のために、今後は土、日の開催も予定しています。

たくさんの気づきが得られる場なので、もっと多くの会員が参加してくれればよいと思います。(C・N)

NPO法人全国LD親の会



全国LD親の会 関東・東北ブロック会議

2/18(土) Zoomを利用して標題会議が行われました。初めに第35回評議員会の報告がありました。昨年11月に開催された(麦も共催として協力)公開フォーラムの報告や特別支援教育支援員養成ビデオ講座、書籍「発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック」発行などの活動についてです。令和5年度の事業として、6/17(土)に第16回総会、6/18(日)に第22回公開フォーラムが共に富山県の会場からオンラインと併用で開催されること、特別支援教育支援員養成ビデオ講座の実施、行政勉強会や交流会の実施などが予定されています。他に、各会の活動報告や情報交換などがありました。(M・K)

5月全体例会 講演会



「成年後見制度と見守りサービス～保護者が発達障害の我が子のために準備しておくこと～」

講師：井上英一氏（認定NPO法人市民後見センターさいたま顧問 精神保健福祉士）

5月24日（水）10：30～12：00 浦和コミュニティセンター第13集会室

出席 正会員 教育G2名 就労G7名 賛助1名 法人4名 一般5名（内夫婦1組） 合計19名

少し先ではあるけれど、我が家も人ごとでは無い8050問題に興味があり参加させていただきました。

親が認知症になった時などに備える後見人制度やNPOによる安心見守りサービスについてお話しいただきました。本人や家族が自分で生活面、財産面の管理ができない状況になった時つける後見人ですが、後見人をつけるには医師の診断書が必須な事、同じ後見人といっても行政書士とNPOでは財産を守る事と、身上保護をする事とで重きを置くところが違うということをお話しいただきました。又、具体的な支援の事例も紹介してくださりイメージがやすかったです。家族会とつながるといふことの重要性を改めて感じました。講師の先生、企画してくださった「麦」役員の皆様、ありがとうございました。その後の先生方との昼食会も和やかな雰囲気の中、優しく質問にも答えて下さり、とても有意義な会となりました。

(T・K)



5月講演会後の昼食会

参加者 「麦」正会員：5名、法人会員：4名 計9名

コロナ禍では食事会の企画を控えておりましたが、感染が下火になったことから、講演会終了後に「麦」会員限定の【講師を囲んだ昼食会】を行いました。昼食会には、講師所属先であり「麦」法人会員の皆様にも出席いただきました。情報交換はもちろんの事、近況報告や具体的な困難例など話に花が咲き、あっという間の時間でした。参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

(H・Y)

法人会員のご紹介

5月講演会は「認定NPO法人市民後見センターさいたま」から講師をお招きいたしました。

「認定NPO法人市民後見センターさいたま」は、当会の法人会員です。

そこで、本機関紙で当会の法人会員を簡単に紹介させていただきます。

(H・Y)

「認定NPO法人市民後見センターさいたま」とは？

市民後見センターさいたまは、2011年4月に設立され、人生を安心・安全・幸せに過ごしていただくために、相談→あんしん見守りサービス→後見業務→死後事務委任等々の総合的問題解決ができるサービスを提供している団体です。主な業務は、成年後見サービス（法定後見申し立て、法定後見受任、任意後見契約など）と生活サポートサービス（買い物付き添いや代行、病院の付き添い、旅行の手配や付き添い、金融機関の振込みなど日常生活に必要な金銭管理等）で暮らしをサポートしています。なお、生活サポートサービスにつきましては安心見守りサービスの契約のもとでの対応となります。詳細は下記ホームページでご確認ください。

<http://kouken-saitama.org/>





令和4年度さいたま市第3回誰もが共に暮らすための市民会議

2/21（火）にRaiBoC Hallレイボックホール（市民会館おおみや）で開催された標記会議に参加させていただきました。「さいたま市障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査結果報告書（速報版）」について、小グループに分かれて話し合いました。私の参加したグループでは、アンケートにあった障害者への理解を深めるために力を入れるべきことと、ノーマライゼーション条例の認知度について意見交換がされました。理解を深めるには、子供の時からのおいぬあいや福祉施設を地域に開かれたものにするなどの意見があがりました。ノーマライゼーション条例の周知に関しては、自治会でチラシの回覧や講演ができないだろうかとの意見がありました。互いに支え合い、受け入れていく社会になるよう、さいたま市のノーマライゼーション条例が周知され、生かされることを期待したいです。ボランティア団体の方や福祉施設で研修中の大学生と同じグループになり、いろんな視点のお話が聞け、充実した時間でした。（Y・S）



令和4年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修 「ひきこもりの方とそこご家族への対応～話を聴くということ～」

2/24（金）、さいたま市子ども家庭総合センター会議室において標記の研修が開催され、私は関係機関の皆様と共にひきこもり対策連絡協議会委員として出席いたしました。まず、ひきこもり相談センターから業務に対する説明があり、その次に「ひきこもりの方のご家族への関わり方」というテーマで、NPO法人子育て応援隊むぎぐみ副理事長の喜多見学氏のご講演がございました。最後に事例が紹介され、2つのグループに分かれてワークを行いました。参加者は、介護・社会福祉・自立支援・相談員・区役所職員などで、発達障害を含め当事者家族会で参加したのは私だけでした。グループワークでは、様々な職種による視点から、たくさんの解決策が提案されました。私は、まずひきこもり本人と会話できるきっかけ（趣味や特技等話しやすい話題）を探り、こちらの要求を伝えるのではなく、本人の話を傾聴し、本人のセルフエスティーム（自己肯定感）を向上させる環境整備が大切だと意見しました。ひきこもりが長期化し、本人を支える家族が高齢化すると、家族は焦りや不安が強くなります。専門機関へ相談しても、すぐに解決できるとは限りませんが、家族だけで悩まずに、専門機関と一緒に対策を考えていくことが大切です。（H・Y）



令和4年度第2回さいたま市発達障害者支援地域協議会

3/14（火）標記会議がオンラインで開催されました。議題は、まず「発達障害児者及び家族支援事業の報告について」として、さいたま市での令和4年度の事業の報告がありました。コロナ禍で見合わせていたペアレントメンター養成講座の再開（養成研修とフォローアップ講座）と、ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座です。

次に、潤いファイルの改定に合わせて令和4年度作成した「潤いファイル使い方ガイドブック」の確定案が示されました。新しい潤いファイルは3月から使用が開始されています。さらに潤いファイルの周知についての取り組みが必要との意見が出ました。他に令和4年10月に実施された「さいたま市障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査結果（速報版）」の説明、などがありました。（M・K）



令和4年度第3回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

3/17（金）標題会議がオンラインで開催されました。本協議会で2021年度から2年をかけて作成した「支援者のための模擬事例集」が完成しました。これは、支援の経験が浅い支援者のために支援の参考にしてもらうことを目的に、本協議会の委員の所属先が対応した発達障害者への様々な支援の例を、個人情報が出ないよう編集しまとめたものです。また、それぞれのケース毎に、本人を含めた支援機関のつながりを示す図が作られており、支援の流れと関係機関がわかりやすくまとめられています。支援の方法は個々にすべて異なりますが、各委員から、所属先において皆で利用し参考にしたいと意見がありました。私は、より良い支援には様々な支援機関が連携することが大切であると、改めて感じました。（M・K）

令和4年度埼玉県発達障害者支援センター運営協議会

3/17（金） 10:00~12:00 Zoom

発達障害者支援センター運営協議会は医療機関や児童相談所、埼玉県の担当課などの行政機関、福祉機関、関係団体として埼玉県自閉症協会、親の会「麦」で構成されています。発達障害児（者）に対する福祉、保健、医療、教育、就労の各分野による総合的な支援の在り方を検討するために開かれます。

議題

- (1) 各発達障害者支援センターの運営状況について
 - ア 埼玉県発達障害者総合支援センター
 - ・令和4年度事業実施報告及び令和5年度事業概要説明
 - ・発達支援サポーター育成研修に係るアンケート調査結果について
 - イ 発達障害者支援センター「まほろば」
 - ・令和4年度事業実施報告及び令和5年度事業概要説明
- (2) 構成機関からの情報提供、情報交換
- (3) その他



議題の中で私が興味深かったのは「発達支援サポーター育成研修に係るアンケート調査結果について」です。

研修開始後10年以上が経過しているため、研修内容を検証するために、保育所、幼稚園、認定こども園、地域子育て支援拠点 計2068施設にアンケートを配布してまとめています。

回収率が各機関合計して38.9%というのに少ないように思いました。それだけ現場の方は忙しくしているのかな。どれくらい研修したことが活かされているのかなと思ってしまいました。でも、回答のあった中で「発達に気になる子どもに対する気づき」がH23の調査より11.9ポイント上がって、94.2%になったのがよかったです。また施設内における支援の浸透や支援に対する子どもの変化もポイントが上がっていました。やはり研修の機会を作っていただくことは大事だと思います。

アンケートの結果をふまえて、研修の内容がますます良くなっていくことを願います。

このような協議会が持たれていることも、私達親にとってはとても心強いことです。

子どもたちを取り巻く環境がよりいっそう良くなることを願います。

開催して下さった、発達障害者支援センターの事務局の皆様、出席下さった各機関の皆様ありがとうございました。（C・N）



役員活動報告（さいたま市）



令和4年度第3回さいたま市障害者政策委員会

3/17（金）、標記会議がリモート形式によるオンライン（Zoom）にて開催され、委員として参加いたしました。議題は、（1）次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査結果について、（2）次期障害者総合支援計画の骨子案について、（3）第3回誰もが共に暮らすための市民会議の報告について、および（4）令和5年度予算案の概要についてでした。アンケート調査の結果は次期支援計画の資料となります。さいたま市在住の会員の皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。本アンケートは、発達障害ご本人およびご家族の意見を行政に伝える大切な機会です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。（Y・S）

役員活動報告（さいたま市）



令和5年度さいたま市障害者政策委員会ワーキンググループ

5/29（月） 5/30（火）

さいたま市では「誰もが権利の主体として安心して地域で生活できる社会の実現を目指して」を基本方針として、障害者総合支援計画を策定しています。これは3年に一度見直されます。次年度からの素案を見直す意見交換の場として、ワーキングが2日間にわたって行われました。

私は今年度から委員の一人になったので、1日目は所要のためには出席できませんでしたが、2日目の5/30（月）だけ出席しました。

委員は色々な団体や福祉関係者、公募委員と20人で構成されています。素案に対して、それぞれの立場から活発な意見が出されました。私は今まで発達障害の保護者以外の意見を聞く機会があまりなかったので、違う立場の人の意見を聞くことができたのがよかったです。でも、共通する思いは、障害があってもなくても、安心して暮らせる社会の実現です。さいたま市がこのような場を持つことにより、ますますよい政策ができればよいと思います。このような機会を作っていただき、出席して下さった、さいたま市役所の関係部署の皆様ありがとうございました。（C・N）



役員活動報告（埼玉県）

令和4年度第2回埼玉県発達障害者支援地域協議会

3/23（木）発達障害総合支援センター 研修室（オンライン会議システム併用）にて標記の協議会が開催されました。ZOOMにて参加しました。内容は以下のとおりです。

- 報告事項（1）令和5年度の発達障害支援に係る事業の概要について
- （2）「世界自閉症啓発デー2023」に係る啓発事業について
- （3）障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部改正について

共同生活援助（グループホーム）の支援内容として、一人暮らし等を希望する者に対する支援や退居後の相談等が含まれることを法律上明確化する。就労アセスメント（就労系サービスの利用意向がある障害者との協同による、就労ニーズの把握や能力・適正の評価及び就労開始後の配慮事項等の整理）の手法を活用した「就労選択支援」を創設するとともに、ハローワークはこの支援を受けた者に対して、そのアセスメント結果を参考に職業指導等を実施する。と一部改正され、埼玉県でも法改正を受けて障害者への就労支援、一人暮らし等を希望する者に対しての強化をしていくそうです。

議題 成人期の発達障害者への支援について

ジョブセンター川口の方から2例の支援事例報告があり、事例報告についての意見交換をしました。発達障害者就労支援センターへ相談に来るまでに様々な支援機関、医療機関にかかっているが、就労に至らず、ひきこもりになったり、二次障害を引き起こしたりしていると感じました。法改正で成人期の発達障害者への支援が充実してほしいと願います。ご質問や資料閲覧等の問い合わせは、役員までお願いします。（A・Y）



全国LD親の会 オンライン各会役員交流会

4/15(土) 13:00~15:00、Zoomを利用して全国LD親の会各会役員交流会が行われ、麦から代表が参加いたしました。1グループ5~6名で3つのグループに分かれて、前半1時間ほどおしゃべりした後、参加者をシャッフルして、新たなグループで後半1時間をおしゃべりしました。私は、気楽に一般参加のつもりで申し込みましたが、全国LD親の会理事という立場もあって、当日急にファシリテーターを依頼され、グループ進行役を務めました。他会の役員達から話を伺い、「ジェネレーションギャップ(世代間の相違)」「会員や役員の減少」「後進の育成」「組織運営の難しさ」など、活動上の悩みを共有し合いました。各会役員の話は、「麦」活動においてとても参考になりました。参加された皆様どうもありがとうございました。(H・Y)

その他の活動

JDDnet 埼玉「発達障害啓発週間」

ポスター展示

4/2(日)~4/9(日)

4/2は「世界自閉症啓発デー」、また4/2から1週間は「発達障害啓発週間」です。この時期に毎年県庁内で「世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間」の案内や発達障害の説明、JDDnet 埼玉加盟団体の紹介ポスター等を展示してきました。今年は展示場所を初めてさいたま新都心駅近くの大型商業施設(COCOON2)内の一角にパネルを設置して行いました。「麦」を含めた4団体が参加し、

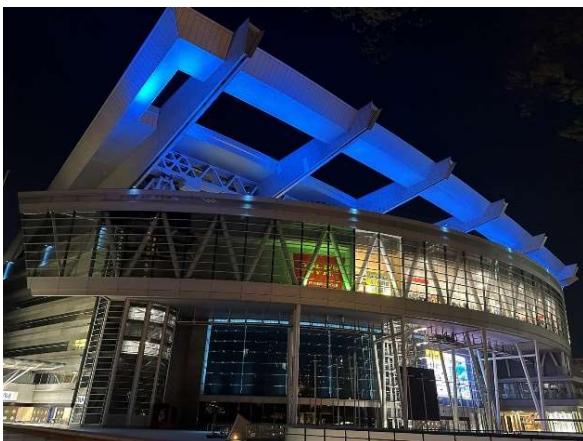


「麦」は会の紹介ポスターとリーフレット、4月おしゃべり会と5月講演会のチラシを掲示しました。期間中見に行くと、足を止めて真剣に読んでくださっている方がいて、多くの人が集まる場所で実施できてよかったと思いました。一人でも多くの人に発達障害について関心を持っていただきたいです。

今回の展示会場の予約、展示と撤去の作業をすべて埼玉県発達障害総合支援センターが行っていただきました。このたびは大変お世話になり、ありがとうございました。(M・K)

埼玉県の世界自閉症啓発デー2023 啓発事業

県内の建物やオブジェがブルーにライトアップされました。



その他の活動



さいたま市主催発達障害に関する講演会

「成人期発達障害に対する理解と支援」



3/18（土） 浦和コミュニティセンター多目的ホールにて

講師：五十嵐 美紀 氏（昭和大学発達障害医療研究所、昭和大学附属烏山病院、精神保健福祉士）

さいたま市では毎年発達障害啓発週間（4/2～9）に合わせ、この時期に講演会を開催しています。今年は成人期をテーマに行われ、ホール満員の聴衆が入っていて、関心の高さを感じました。

発達障害の種類や症状などの知識をお話くださった後、講師が携わっているデイケアにおける支援手法である「発達障害専門プログラム」の説明がありました。発達障害のある本人が自分自身の特性を知り、生活や対人関係を円滑にする方法をロールプレイも行いながら学ぶものです。とても興味深く伺いました。このプログラムを行う支援機関が全国に広がっているとのこと。埼玉県内にはないので、是非採用する機関ができてほしいと思いました。

講師のお話の後、このプログラムを含めた支援を、講師の五十嵐氏などから受けてこられた発達障害のあるご本人が、子どものころからのご自身の経験を話されました。困難な時期を乗り越え、今は仕事をもって一人暮らしをされているとのこと。お話を伺って、障害のある人を理解して寄り添ってくれる支援者がいる、ということの大切さを再認識しました。

さいたま市におかれましては、毎年講演会をおこなってくださりありがとうございます。今後も発達障害への理解促進の場を提供してくださるようお願いいたします。 (M・K)



対外活動

埼玉県障害者雇用総合サポートセンター訪問

3/15（水）「麦」代表Kと「麦」事務局で全国LD親の会理事Yの2名で、埼玉県障害者雇用総合サポートセンターの河崎誠司氏を訪問いたしました。河崎氏には、長年埼玉県内の障害者就労でお世話になっておりましたが、昨年11月全国LD親の会公開フォーラムにおいて、パネリストもお引き受けいただきましたので、フォーラム終了後に直接訪問してご挨拶したいと思っておりました。ところが、フォーラムアンケート集計や年末年始の業務が影響し、結局3月中旬になって、ようやく訪問することができました。まずは、公開フォーラム登壇のお礼を述べ、全国LD親の会が2023年1月に発行した「発達に気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック-社会の中で生きる力偏-」を進呈いたしました。その後、埼玉県内の障害者雇用の状況や支援体制等に話が弾み、親の会が行うべき活動の参考になりました。どうか今後も、障害のある人へお力添えの程お願いいたします。河崎氏および埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのますますのご活躍ご発展をお祈り申し上げます。 (H・Y)

昨年11月全国LD親の会公開フォーラムでお世話になった埼玉県内の他の登壇者（埼玉県立大学：朝日雅也氏、埼玉障害者職業センター：田村恭子氏）におかれましては、異動等の諸事情もあり訪問日程の調整がつかず、書籍は郵送で進呈させていただきました。直接のご挨拶は叶いませんでしたが、新しい環境でのご躍進を祈念いたしております。

「麦」活動報告（機関紙 2023 年 2 月 156 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 総会
3/13（月） 第 34 回総会 会場開催
- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
2/22（水） 全体おしゃべり会 会場開催
3/13（月） 正会員限定交流会「新年度の活動に向けて」 総会午後 会場開催
4/24（月） 全体おしゃべり会 会場開催
5/24（水） 講演会「成年後見制度と見守りサービス」、会員限定「講師を囲んで昼食会」 会場開催
- 全体例会開催の為に活動
4/28（金）5 月講演会講師と打合せ、5/19（金）昼食手配、5/21（日）講演会配布資料印刷

<役員活動>

- 役員会（活動の報告、計画、相談、情報交換など） 全て Zoom 利用
2/10（金）、臨時 3/8（水）、臨時 3/10（金）、4/13（木）、5/17（水）
新年度計画 4、5、6 月全体例会準備 役員と役員補助の仕事確認 進路アンケートなど
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
2/22（水） 機関紙 156 号発行、WEB 掲載 機関紙及び総会資料等印刷・発送
4/24（月） 機関紙臨時号発行、印刷・発送（4/23（日）機関紙臨時号、発送物の事前印刷）
- ホームページの更新
2/22（水）、3/14（火）、4/15（土）、5/21（日）
- 要望書提出に関する活動
5/9（火）会員連絡網で要望書の意見徴収 5/24（水）要望書検討会（会場開催）
- 行政関連の行事
2/21（火） 令和 4 年度第 3 回さいたま誰もが共に暮らすための市民会議（会場開催）
2/24（金） 令和 4 年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修（会場開催）
3/14（火） 令和 4 年度第 2 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
3/17（金） 令和 4 年度第 3 回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
3/17（金） 令和 4 年度第 3 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（Zoom）
3/17（金） 令和 4 年度埼玉県発達障害総合支援センター運営協議会（Zoom）
3/23（木） 令和 4 年度第 2 回埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）
5/30（火） 令和 5 年度さいたま市障害者政策委員会ワーキンググループ（会場開催）
- その他
3/15（水） 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター 河崎誠司氏訪問
3/18（土） さいたま市主催講演会「成人期発達障害に対する理解と支援」（会場開催）
3/24（金） 埼玉県発達障害総合支援センターへポスター等展示物を持参
4/2（日）～4/9（日）埼玉県発達障害啓発週間イベントに協力 さいたま新都心コクーンポスター展示
4/11（火） 埼玉県発達障害総合支援センターからポスター等展示物を引き取り
4/16（日） 連絡網担当者と今後の相談（Zoom）
4/28（金） ふくし信託（株）から事業説明（Zoom）

<全国 LD 親の会の行事>

- 2/18（土） 関東・東北ブロック会議（Zoom）
- 4/15（土） 全国 LD 親の会各会役員交流会（Zoom）

埼玉親の会「麦」主催 地域おしゃべり会 開催のご案内

コロナ禍では活動を控えていた身近な地域によるおしゃべり会を再開いたします。麦会員限定(賛助・法人会員含む)の小規模おしゃべり会ですが、**入会検討中の会員以外の方も若干名見学を受付けます**。参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。**居住地に関係なく**、参加できそうな場所&日程でお申込みをお願いします。

7月 川越地域おしゃべり会

参加費無料

喫茶店の飲食代は参加者が負担してください

日時：7月22日(土) 10:30~12:00

場所：JR川越駅近くの喫茶店

店名掲載すると支障がございますので店名は申込者に伝えます

定員：8名(定員になり次第締め切り)

締切：7月15日(土)



8月 大宮地域おしゃべり会

参加費無料

日時：8月19日(土) 会員は①②片方でも両方でも参加OK

①12:00~13:30 会員限定昼食会(昼食は各自用意) 見学不可

②13:30~15:00 おしゃべり会 見学可

場所：さいたま市生涯学習総合センター 7F 講座室3

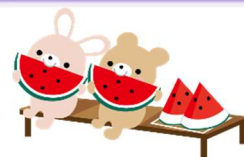
さいたま市大宮区桜木町 1-10-18

TEL048-643-5651 JR大宮駅西口徒歩5分

「シーノ大宮センタープラザ」7F

定員：15名(定員になり次第締め切り)

締切：8月12日(土)



埼玉親の会「麦」とは・・・

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

1989年発足。

NPO法人全国LD親の会所属。

<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>

7月8月共通 申込み&問合せ先

埼玉親の会「麦」

Mail mugi.saitama89@gmail.com (申込先) TEL 080-4125-6020 (確認用)

7月8月ともに期日までに、お名前、電話番号、お子様の年齢をメールでご連絡ください。

3日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は080-4125-6020(確認用)へ電話をお願いします。

参加者の個人情報、交流会の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。

☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

発達障害のある子どもの進路と不登校ひきこもり

～保護者による体験談と親の会アンケート調査結果報告～



発達障害の子どもを持つ親は、我が子の進路選択に苦労します。本人の障害特性にあった環境だけでなく、本人の希望や関心を把握し、本人と向き合うことも大切です。

さらに、我が子が不登校やひきこもりになった時、親はどんなことができるでしょうか？

「麦」では、4～5月に会員アンケートを実施し、進路や不登校ひきこもりについて調査いたしました。今回アンケート結果を報告し、数人の親達に体験談を語っていただきます。体験談の後は、進路や不登校ひきこもりについて、参加会員達と一緒に話し合いたいと思います。

進路例会は、親の会の情報となりますので、**正会員のみ対象**です。入会希望者のお試し見学参加はできません。



日時 9月22日(金) 10:30～12:00 (受付 10:15～)

会場 浦和コミュニティセンター IT 研修室

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F TEL 048-887-6565
JR 浦和駅東口徒歩 1分 ロータリー前 有料駐車場あり

申込み&問合せ先 埼玉親の会「麦」

Mail mugisaitama89@gmail.com (申込先) TEL 080-4125-6020 (確認用)

9月15日(金)までに、

お名前と電話番号をメールでご連絡ください。

3日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は080-4125-6020(確認用)へ電話をお願いします。**参加費無料**です。

☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは…

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。私たちは、保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。(1989年発足)

NPO法人全国LD親の会所属。

<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



麦 INFORMATION 6月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙役員まで。

✿7月川越地域おしゃべり会 麦会員限定（賛助・法人会員含む）入会希望の見学者可
日時：7月22日（土）10：30～12：00

場所：JR川越駅近くの喫茶店

定員：8名

✿8月大宮地域おしゃべり会 麦会員限定（賛助・法人会員含む）入会希望の見学者可
日時：8月19日（土）会員は①②片方でも両方でも参加OK

①12:00～13:30 会員限定昼食会（昼食は各自用意）見学不可

②13:30～15:00 おしゃべり会 見学可

場所：さいたま市生涯学習総合センター7F 講座室3

定員：15名

※詳細はチラシ（10ページ）または麦ホームページにて確認してください。

会員の申し込み先はメール連絡でお知らせいたします。

✿9月進路例会 正会員限定

日時：9月22日（金）10：30～12：00

※チラシ（11ページ）または麦ホームページにてご確認ください。

申し込み先などの詳細はメール連絡でお知らせいたします。

✿役員会（Zoom）のお知らせ

7月13日（木）、8月7日（月） どちらも9：15～（遅刻早退可能）

役員会は、役員だけでなく正会員なら誰でも参加できます。役員会を会場開催からZoomに切り替えた時、Zoom操作の都合で、しばらく役員限定で行っていましたが、今年度から会員参加もお受けします。役員会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。 mugi.saitama89@gmail.com



*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。



～編集後記～ 2023 年度機関紙担当からのご挨拶

コロナウイルスが5類に引き下げられ、コロナ前の日常生活に戻りつつありますが、まだマスクをしている人が多いです。麦の活動もコロナ前と同じようにできたら良いなと思っています。

今年度は役員2名、補助の方1名の3名体制で行っていきます。今年度も多くの情報を提供できるように務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。（A・Y）

4月に新年度を迎え、新しい環境でがんばっているお子さんも多いのではないのでしょうか。慣れるにはちょっと時間がかかりそうですが、成長を見守っていきたいですね。

本年度、機関紙役員を務めることとなりました。久しぶりのPC作業に戸惑うことも多いですが、読みやすい紙面づくりを目指します。よろしくお願いいたします。（M・N）

機関紙に原稿を お寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙6月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。

〈機関紙担当一同〉

